

# マリレジャー安全レポート

第七管区海上保安本部  
マリレジャー安全推進室  
TEL 093-321-2931  
E-mail:kyuunan7-j7vj2@kaiho.mlit.go.jp

第50号(平成21年9月)

第七管区海上保安本部管内において、7月1日から8月31日の間に発生した、マリレジャーに伴う船舶海難・人身事故の発生状況を取りまとめました。

## マリレジャーに伴う船舶海難、人身事故の発生状況 (7月・8月速報値)

### プレジャーボート等の船舶海難の状況

船舶海難49隻(昨年比12隻減)、海難に伴う死者0人(昨年比同数)  
海難に伴う海中転落者9人、そのうちライフジャケット着用者7人

事故の内容は次のとおりです。

船舶用途別：モーターボート37隻(内ミニボート4隻)、ヨット3隻、遊漁船3隻、水上オートバイ5隻、その他1隻

海難種類別：衝突7隻、乗揚げ6隻、機関故障15隻、運航阻害10隻、安全阻害3隻、転覆5隻、その他3隻

海難原因別：見張り不十分、船位不確認、水路調査不十分等運航の過誤、機関の取扱不良等の人為的な原因が全体の約7割

### マリレジャーに伴う人身事故の状況

事故者は44人(昨年比15人増)、うち死亡・行方不明者は19人(昨年比8人増)、事故の約7割は土・日曜日に発生、若年層(18歳以下)の事故者は18人、うち死者5人

事故の内容は次のとおりです。

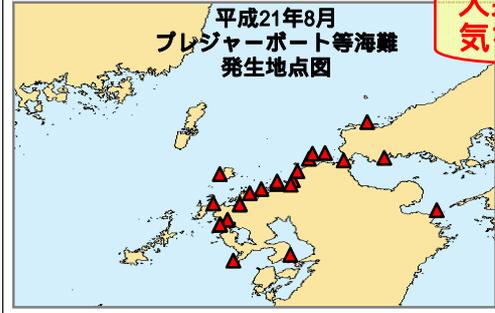
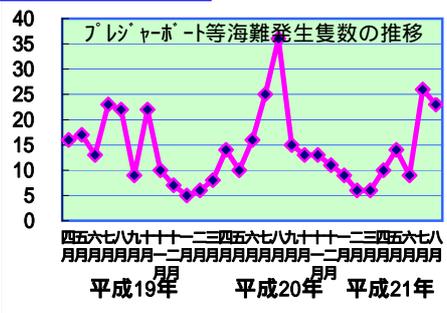
事故者：遊泳中19人、磯遊中8人、釣り中8人、その他9人

死亡・行方不明者：遊泳中9人、磯遊中6人、釣り中3人、その他1人

若年層(18歳未満)の事故：遊泳中10人(死者2人)、磯遊び中4人(死者3人)、釣り中1人(死者0人)、その他3人(死者0人)



|                                |        |
|--------------------------------|--------|
| 平成21年8月<br>プレジャーボート等<br>海難発生隻数 | 合計 23隻 |
| 衝突                             | 4      |
| 乗揚                             | 4      |
| 転覆                             | 0      |
| 浸水                             | 0      |
| 推進器障害                          | 1      |
| 舵障害                            | 0      |
| 機関故障                           | 8      |
| 火災                             | 0      |
| 爆発                             | 0      |
| 行方不明                           | 0      |
| 運航阻害                           | 3      |
| 安全阻害                           | 2      |
| その他                            | 1      |



人身事故が増えています。  
気をつけましょう。



台風により転覆した船舶

## 台風襲来の際です ～ 台風接近に備えましょう ～

今年はまだ台風が九州に上陸していませんが、台風の接近前には、係留索等のチェックをお忘れなく!!

### 台風接近前に行く台風対策

- ・**係留索の点検をする**：古かったり、擦り切れた箇所があるロープは、取り替える。
- ・**係留索を増す**：係留索を増強し、係留索が岸壁の角等で擦れるおそれがある場合は、係留索に毛布などを巻き付けたり、ビニールホースなどを使用して擦れを防止する。
- ・**潮汐等の変化を考慮する**：高潮により思わぬ高さまで海面が上昇し、係留索の長さが足りず、押さえつけられて浸水し転覆・沈没することもある。
- ・**船上の片付け**：飛散するおそれのある物は、船内に格納する。風の抵抗が大きくなるようなオーニングなどは外しておく。
- ・**その他**：防舷物の設置(増強)、台風情報の確認etc...

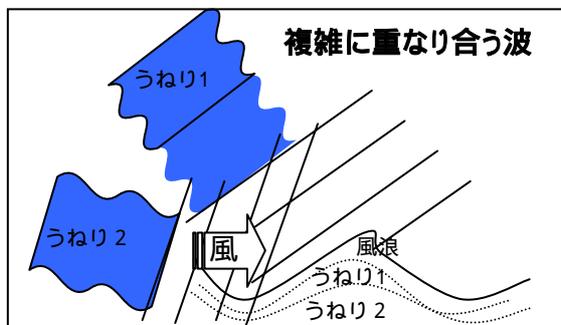
荒天時の作業は非常に危険です。接近前に準備を終えましょう!!

## 風 浪

### うねりと風浪

私たちが波と呼ぶものには、「うねり」と「風浪」の2種類があります。どちらもその元は風ですが、うねりは、その場所では風がないのに海面が振幅する現象で、普通ゆったりと動きます。

うねりの代表は、高気圧や台風などによる風が長時間同じ方向から吹き続けることによって作られた波です。一方、風浪はその場所で吹く風によって、さざ波が立ったり、白波が飛んだりする現象です。



### 沿岸の風と波

海上の風は、陸上の風に比べ、地形や建物などによる摩擦が少ないことから、強い風が吹くといわれています。

実際に海に出てみると、思った以上に風が強いと感じた経験はありませんか？

現在、天気予報などの気象情報を提供しているメディアはたくさんあります。

航海に出る際には、天気予報等のテレビ番組やインターネットから、天気予報として風の情報を入手しているかと思いますが、これらの情報は、気象台などで観測されたデータが一般的に活用されていますので、必ずしも沿岸の風ばかりではありません。そこで、大いに役立つのが、海上保安庁が提供している「船舶気象情報」です。

「船舶気象情報」は、沿岸海域を航行する船舶や操業漁船、また、プレジャーボート活動やいそ釣り等の海洋レジャーの安全を図るため、全国各地の主要な岬の灯台等124箇所において、局地的な風向、風速、波、うねり等の気象・海象の観測を行い、その現況を無線電話、テレホンサービス又はインターネットにより提供しています。ホームページでは、風向、風速、気圧、波高等の気象・海象の現況及び過去12時間分の情報を提供しています。

岬の突端に立つ灯台という、海上に極めて近い高所に観測点を置いていますので、立地条件によっては、灯台背後の陸上から吹く風、沖からの風など、特定の風向では風が弱めに、あるいは強めに観測されることもあります。海上の風を比較的良好に代表しているといえるでしょう。現場の風を確認することで、事前に入手した気象情報を確認し、さらに予報より早めに天候が悪化するのか、その後の行動の判断材料に活かします。また、波浪等については、「船舶気象情報」のほか、気象庁による「沿岸の波浪予測」、国土交通省港湾局等による「ナウファス(全国港湾海洋波浪情報網)」などが活用できます。

海の情報交差点 (<http://www1.kaiho.mlit.go.jp/KAN7/top.htm>) では、海上気象などについても情報提供しています。

